



20250305

校長の戯言 月 No.19 月

SEISHUKAN あ・ら・かると

鹿児島県立川薩清修館高等学校長 幸多優



■感動に包まれた卒業式

第16回卒業式。49人の卒業生に卒業証書を授与した。この生徒たちは私が赴任した時に入学してきた学年である。3年間共に過ごした、ある意味同期の仲間たちであった。今回は数年ぶりに吹奏楽部の演奏で入場、国歌、校歌、退場を行った。卒業生、在校生の歌声も体育館に響いた。式典終わりに卒業生がサプライズで合唱を披露した。自分たちで選曲し、ピアノ演奏に合わせてGReeeeNの「遙か」を熱唱した。生徒たちの演奏、歌声に包まれた幸せな卒業式であった。校長職最後の式典に色々な想いが胸を熱くした。



■入来麓の雛祭り「かえんそや」

入来の武家屋敷、旧増田家において伝統行事「かえんそや」(雛祭り)が開催され、本校写真部がフォトコンテストにおいて部員の5人全員が奨励賞を受賞した。写真部は総文祭のコンテストで毎年九州大会以上の成績を収めているだけでなく、地域行事にも積極的に参加している。生徒たちの作品は事務室前から進路室に向かって長い廊下(ウエルカムギャラリー)に定期的に展示している。ぜひ、ご来校いただき、直接鑑賞していただきたい。

今回の伝統行事に私も声をかけていただき、子供たちの前で演奏させていただいた。武家屋敷の一角で子どもたちを対象に何を演奏しようか迷った結果、ジブリ作品の曲を演奏した。梅の花が咲き誇り、子供たちの声や色とりどりの着物にマッチした演奏となった。

